

仲間とともにつなぐタスキ

水口中学校 陸上部
ひだりんか
飛田凜香さん



水口中学校3年生の飛田さんは1月17日に京都で開催された皇后杯第34回全国道府県対抗女子駅伝に出場しました。大会を振り返り、これまでの、そしてこれからの陸上に対する思いを語ってくれました。

■走ることの魅力を教えてください。

陸上競技になじみのない方からみると、苦しいスポーツだと思いますが、ランナーの懸命に駆ける姿は見る人にも感動を与えられる素晴らしいさがあると思います。もちろん、走る私たちが記録更新の達成感が最高の喜びです。

■全国女子駅伝はどうでしたか？

前大会も選抜されましたが、補欠でしたので大会を走ったのは今年が初めてでした。

沿道には多くの方がいて、こんなにもたくさんの方が応援してくださることに感謝の気持ちでいっぱいでした。走りに集中しながら、いま自分は中学最後のレースを走っているんだという寂しさ、全国大会の舞台上で走ることができるうれしさが混じり合いながらの3kmでした。

■これからの目標は？

高校では3000mを中心に練習し、インターハイと国体に出場したいです。また、高校生としても全国女子駅伝に出場して、任された区間で自分の力を出し切りたいと思います。今回の区間順位は31位でしたが、次はもっと上位で仲間とタスキをつなぎたいです。



インタビューの中で、何度も「仲間のために」「仲間がいるから」という言葉を織り交ぜながら答えてくれた飛田さん。タスキに託された仲間との絆の強さが伝わりました。

元気な まちがど



▼体育館で開催された百人一首大会



2 news

詠み上げる声に集中して 全校百人一首大会

大野小学校全校百人一首大会が2月10日、同校体育館で開催され、約130人の児童が参加しました。

この大会は今回で11年目を数えます。児童たちは昨年12月から百人一首の暗唱に取り組み、6年生のほぼ全員が百首を暗記しています。

鉢巻きをした児童たちは、詠み上げられた歌から札を懸命に探し、源平合戦方式で熱い戦いを繰り広げました。

同校の松並純子教頭は「日本古来の伝統文化にふれる素晴らしい機会です。生徒たちは2学期から学年ごとに暗唱する数の目標を決め、頑張ってきました」と全校児童の努力を称えました。

1 news

未来は自分の1票で 甲賀市明るい選挙出前講座

甲賀市明るい選挙出前講座が1月26日、甲南中部小学校で行われ、6年生23人が参加しました。この講座は、選挙クイズや模擬投票の体験を通じて政治や選挙に関心を持ってもらうことが狙いです。この日は「理想の給食」が選挙のテーマで、2人の立候補者による給食メニューについての公約演説の後、投票が行われました。

投票した谷利紗さんは「選挙の仕組みは思っていたよりもわかりやすく、投票できる年齢になれば、しっかりと考えて投票をしたいです」と体験を振り返りました。



▲模擬投票を体験する児童たち

3 news

冬を彩るイルミネーション 紫香楽宮都あかり

「紫香楽宮都あかり」が2月11日から14日にかけて、信楽町単人川みずべ公園で開催されました。このライトアップイベントは「びわ湖灯り絵巻」と題され、甲賀、高島、近江八幡など県内8会場同様に滋賀県の主権により行われました。会場となった公園の芝生や木には鮮やかなライトアップが施され、バレンタインデーにあわせて設置された光のハートオブジェの近くでは多くの人が記念撮影をしました。

家族で会場を訪れた女性は「冬の信楽は寒いですが、空気が澄んでいるので灯りがとてもきれいです」と幻想的な雰囲気を楽しんでいました。



▲ライトで彩られた夜の公園

4 news

お茶の魅力を体感 お茶の淹れ方教室

お茶の淹れ方教室が2月12日、大原小学校で行われ、約40人の児童たちがお茶について学びました。

甲賀市は茶の県内生産量の90%以上を占め、特に土山と信楽は茶どころとして全国的に知られています。

この教室は子どもたちに茶の歴史や魅力を知ってもらおうと、滋賀県茶業会議所と市が共催して、平成27年度事業として市内16の小学校で行われました。

煎茶を自分たちの手で淹れ、味わたった児童からは「すごく良い香り」「二煎目の方がより甘味を強く感じる」などの声が聞かれました。



▲協力して煎茶を淹れる児童たち